

決算説明資料

2022年12月期 第3四半期



2022年11月4日

株式会社トレードワークス
証券コード：3997

1. 2022年12月期 第3四半期 概況
2. TOPICS
3. 事業環境認識・当社の取り組み
4. 2022年12月期 業績予想
5. ご参考) 中期経営計画 2022年~2026年
6. appendix

2022年12月期 第3四半期 概況

2022年12月期 第3四半期 連結業績

売上高	営業利益	当期純利益
2,560百万円 	328百万円 	202百万円 
1,655百万円	(参考：前年同期の単体数値) 138百万円	86百万円

- ・第3Qは主力の金融ソリューション事業を中心に堅調に推移。前年同期と比べ、大幅な増収増益
- ・ストック型ビジネスモデルへの転換が順調に進み、安定した収益を確保
- ・新分野であるメタバースソリューションにおいて、デジタルとリアルを融合した地方創生の最新事業モデル「AZLM CONNECTED CAFE」を共同出店

* 当社は2022年3月18日付で株式会社あじょを子会社化しております。これに伴い2022年12月期第1四半期より連結決算となっております。

通期計画達成に向け、順調に推移。

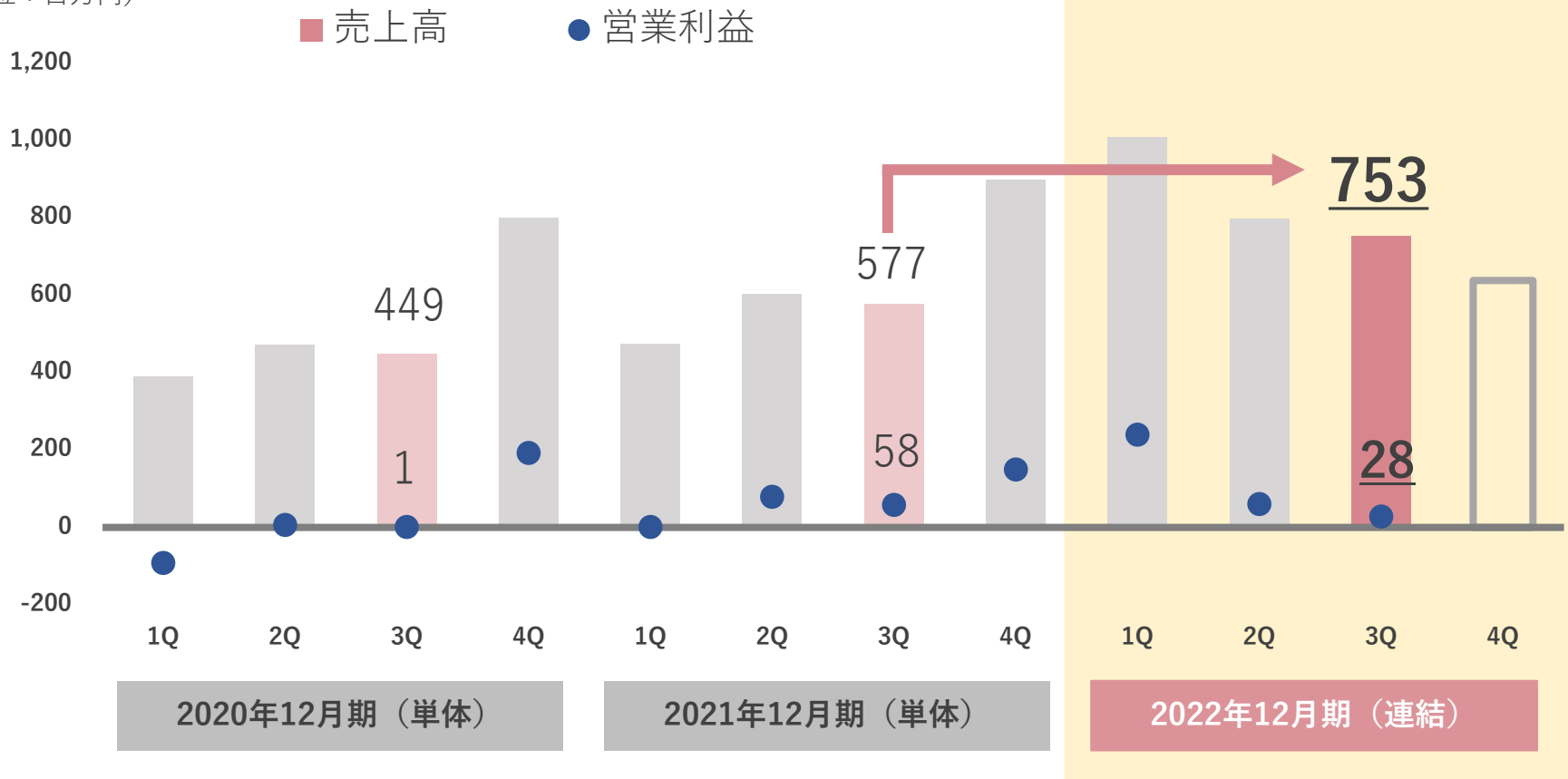
第4四半期は来期以降に向けた成長投資も積極的に実行する予定

(単位：百万円)	2021.12期 3Q	2022.12期 3Q	2022.12期 通期予想	進捗率
	単体	連結	連結	連結
売上高	1,655	2,560	3,200	80.0%
営業利益	138	328	300	109.6%
経常利益	139	335	300	111.6%
四半期純利益	86	202	190	106.7%

* 当社は2022年3月18日付で株式会社あじょを子会社化しております。これに伴い2022年12月期第1四半期より連結決算となっております。

期初からの好調な受注が継続し、前年同四半期比で、3割の売上アップ

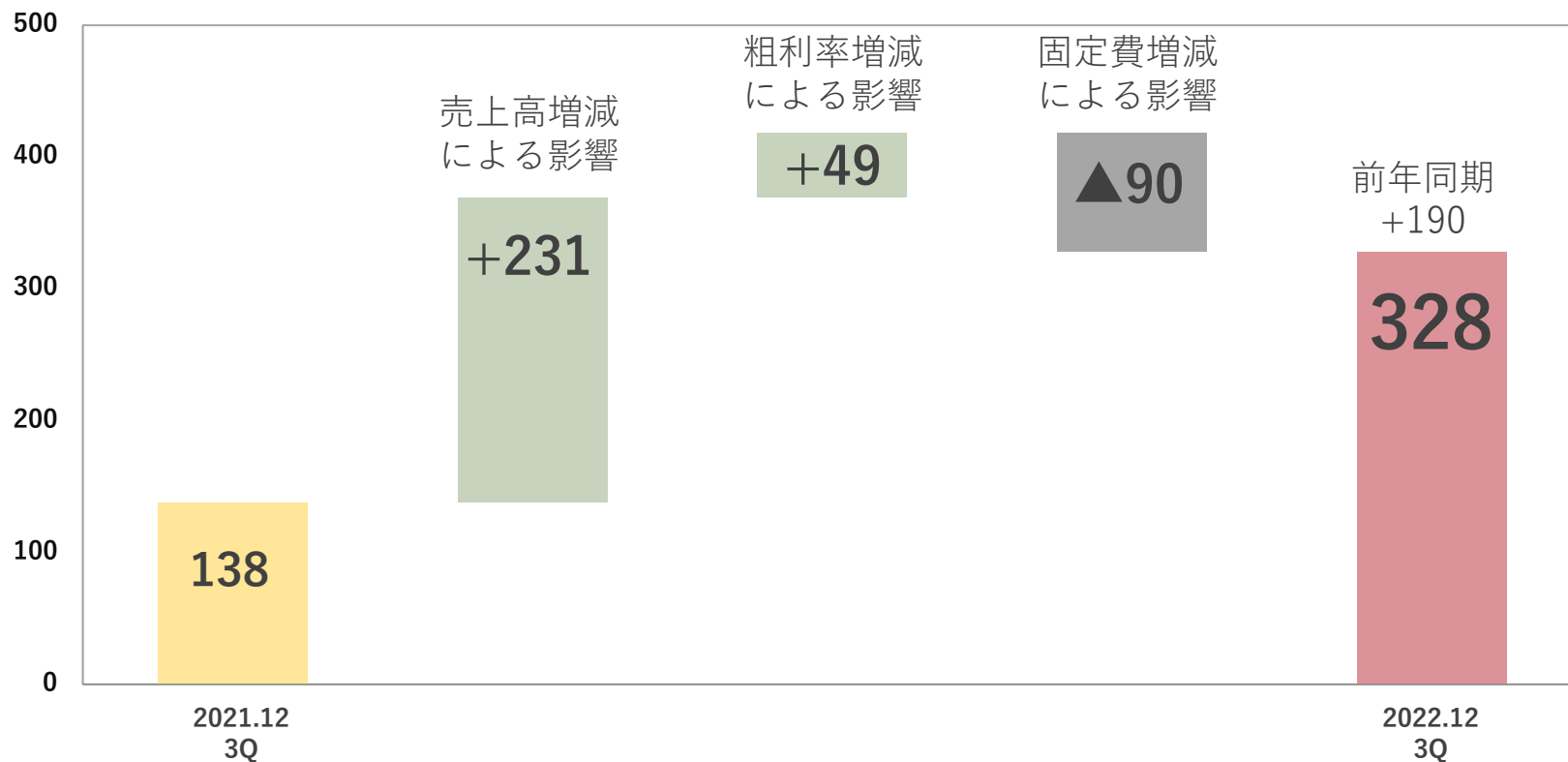
(単位：百万円)



* 当社は2022年3月18日付で株式会社あじよを子会社化しております。これに伴い2022年12月期第1四半期より連結決算となっております。

増収効果、原価コントロール、販売管理費抑制が良好に推移した結果、前年同期比で、190百万円営業利益が上昇

(単位：百万円)



* 当社は2022年3月18日付で株式会社あじよを子会社化しております。これに伴い2022年12月期第1四半期より連結決算となっております。

貸借対照表

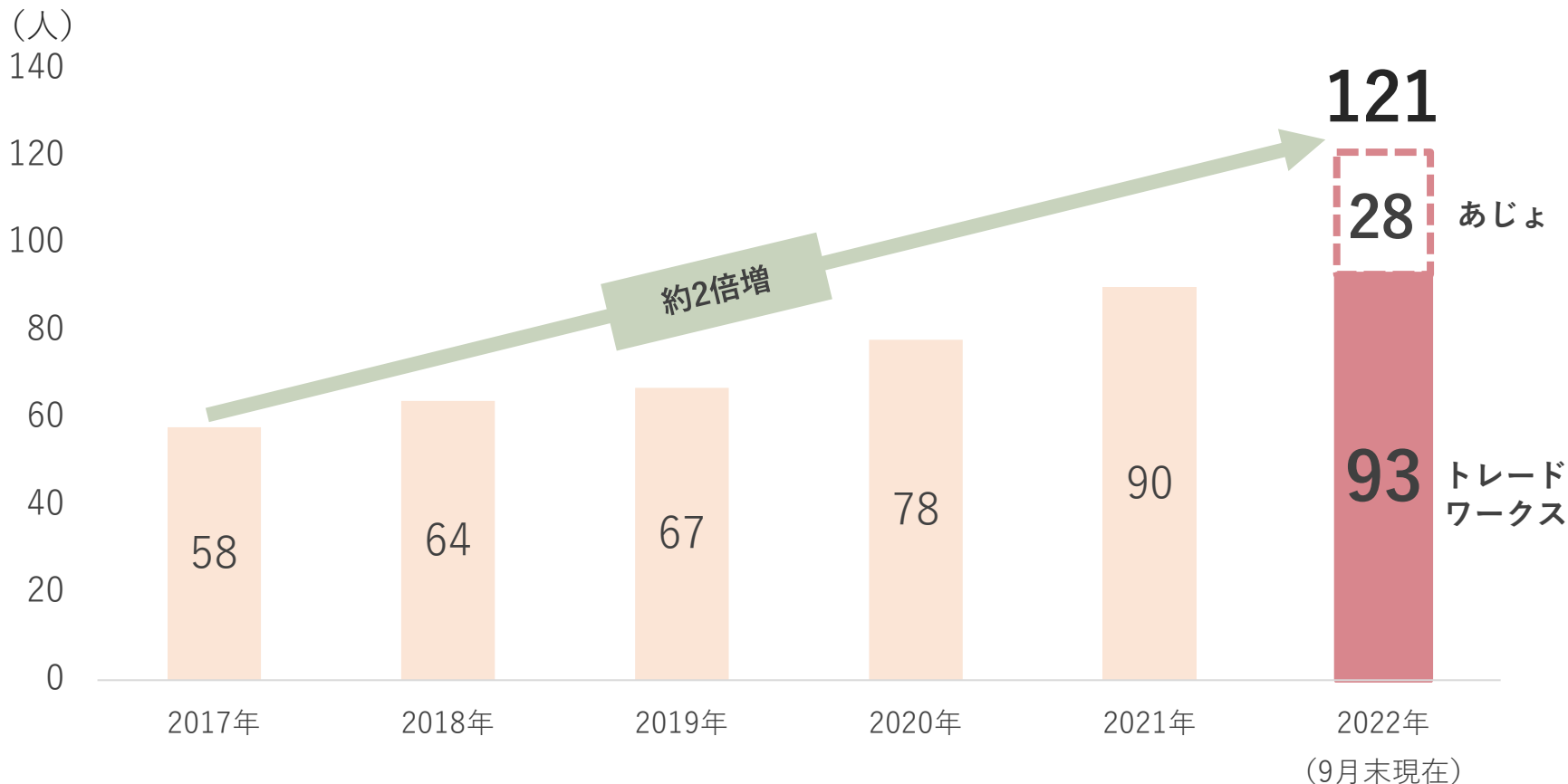
(単位：百万円)

	2021.12期	2022.12期 3Q	増減額
	単体	連結	
流動資産	1,529	1,378	▲151
現金及び 預金	802	695	▲107
売掛金	597	240	▲357
固定資産	569	841	272
有形 固定資産	87	78	▲9
無形 固定資産	229	296	67
投資その他 の資産	252	466	214
資産合計	2,098	2,219	121

	2021.12期	2022.12期 3Q	増減額
	単体	連結	
流動負債	311	428	116
買掛金	107	127	20
未払法人税	89	2	▲86
固定負債	80	172	92
純資産合計	1,706	1,617	▲88
負債・純資産 合計	2,098	2,219	121

* 当社は2022年3月18日付で株式会社あじょを子会社化しております。これに伴い2022年12月期第1四半期より連結決算となっております。第1四半期につきましては、貸借対照表は連結対象としておりますが、損益計算書につきましては、第2四半期より連結対象となります。

大型プロジェクトにも対応できる人材に育成を進めた結果、
エンジニア数が2017年の上場時から約2倍増加し、体制強化も順調に進捗



* 当社は2022年3月18日付で株式会社あじょを子会社化しております。
これに伴い、2022年は連結の人数を記載しております。

TOPICS

「スマート法律相談」のプラットフォームをリニューアル リーガルテック分野のラボ型開発を行うサービス提供を開始



スマート法律相談は、従来の掲示板型の法律相談サービスとは異なる、チャットボットと有人回答者（弁護士）の回答を融合した無料の質問プラットフォーム。

リニューアル後の新システムでは、従来のLINE公式アカウントでの提供を廃止し、ウェブブラウザとスマートフォンアプリ（iOS、android）で動作する統合プラットフォームとして刷新。

岩井コスモ証券株式会社向けに
「TradeAgent 米国株式システム」の提供を開始



「米国株システム」の導入により、米国株式をインターネット上からスマートフォンをはじめとする各種ツールからリアルタイムでお取引が可能。TradeAgentの特徴であるマルチプロダクト・アーキテクチャの採用で、既存の国内株式・投資信託等の商品とシームレスな取引環境を提供。

事業環境認識・当社の取り組み

当社の主軸である金融・証券業界のIT投資意欲は、 コロナ禍においても旺盛

働き方改革、デジタル化による自動化・効率化・省力化等のシステム投資への需要が高まる

◆ フィンテックによる金融業界新規参入業者の増加



◆ 5G通信の商用サービス国内4キャリアでスタート



◆ 金融システムのセキュリティに関する事案の増加



◆ 証券会社システム強化への機運の兆し



2022年12月期の位置づけ

着実な拡大＋成長の足掛かりとなる基盤構築を遂行

5年で、2.4倍の企業規模の拡大を成し遂げるため
既存事業の拡大、新規事業の本格展開開始に加え、
フィンテックなどをはじめとする次世代への取り組みを開始。

重点施策

- ① 主軸事業の深耕、証券インターネット取引システム領域のシェア拡大
- ② 新事業の収益化に向け、事業者との資本・業務提携の関係強化
- ③ AI、IoT技術の利用や、フィンテックによる新しいサービスの開発
- ④ 働き方改革、人手不足解消など生産性向上策といった高需要領域進出

①プロジェクト管理の徹底

原価コントロールが進展し、利益率が向上

②メタバース領域へのプラットフォームを提供

金融システムのノウハウを活かし、新領域に展開

③新分野への積極投資

中期経営計画に基づき、デジタルコマース分野、次世代金融分野等への積極投資

④積極的な採用活動

新領域の開拓、事業拡大に向け人材の獲得・育成等の人材投資

①第3Qまでの実施事項の継続

②金融ソリューション事業の深耕

ASPサービスの拡販及びデータセンター設備等の基盤の最適化を継続

③新サービスへの取り組み、収益化

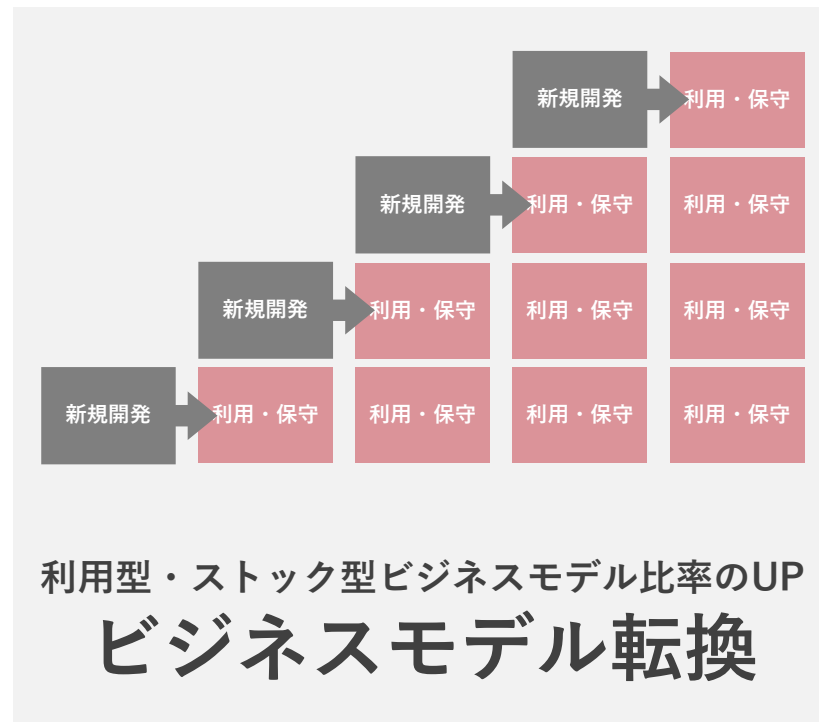
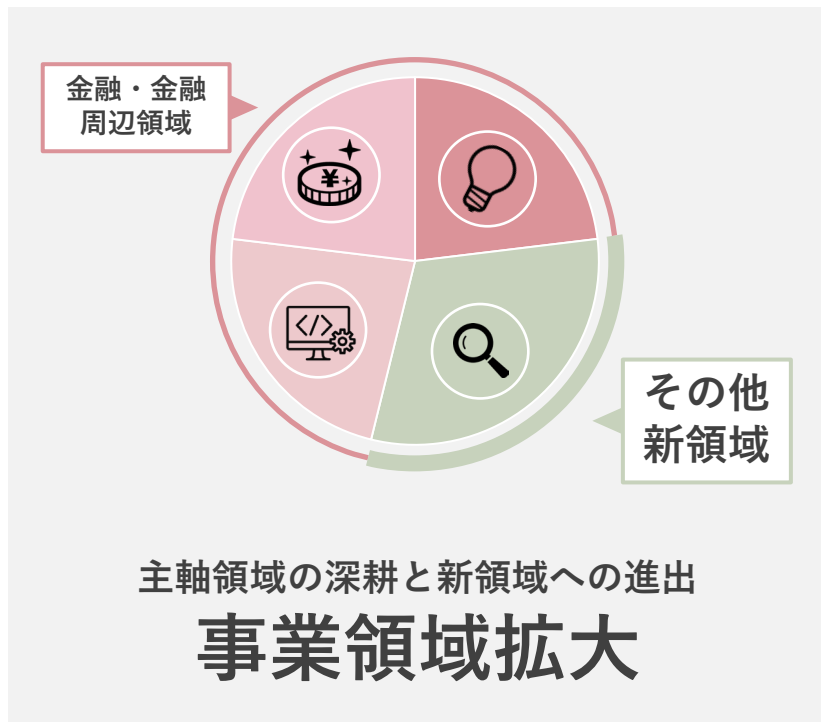
金融システムのノウハウを活かし、EC、医療など新領域に展開

④次世代金融領域のソリューション展開

暗号資産をはじめとする次世代金融領域のソリューションへの展開

持続的な成長を目指し2つの戦略を実施

技術と金融知識を持ち合わせた専門性の高い集団



2つの戦略を継続して実施し、規模、収益力を拡大

2022年12月期 業績予想

第4四半期に成長に向けた先行投資を予定するものの、第3四半期までの好調な業績を生かし、通期計画の確実な達成と上振れを目指します。

(単位：百万円)

	2020.12期 単体	2021.12期 単体	2022.12期 連結（予）
売上高	2,110	2,553	3,200
営業利益	107	287	300
経常利益	107	289	300
当期純利益	73	189	190

2022年12月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、上記の業績予想は当該会計基準等を適用した後の金額となっており、対前期増減率は記載しておりません。

* 当社は2022年3月18日付で株式会社あじょを子会社化しております。これに伴い2022年12月期第1四半期より連結決算となっております。

経営基盤の強化を最優先し、
将来の事業展開と内部留保とのバランスを考慮し、利益配分を実施

1株あたり15円を予定

	2020.12期	2021.12期	2022.12期 (予)
配当金 (1株)	5円	15円	15円

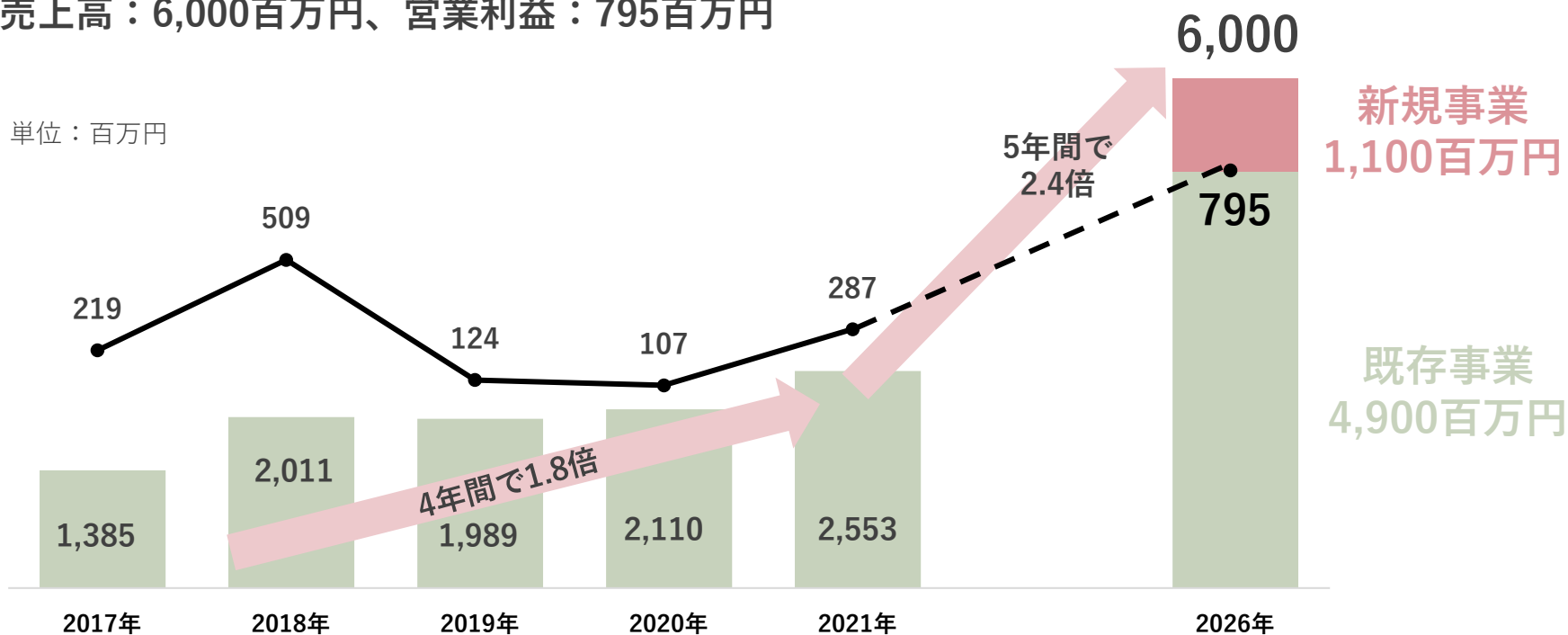
ご参考) 中期経営計画 2022年~2026年

永続的な成長の礎を築くための計画として、2026年12月期を最終年度とする「中期経営計画」を策定。

テクノロジーファーストを遂行し、金融領域 + α で2021年12月期比、2.4倍の企業規模を目指します。

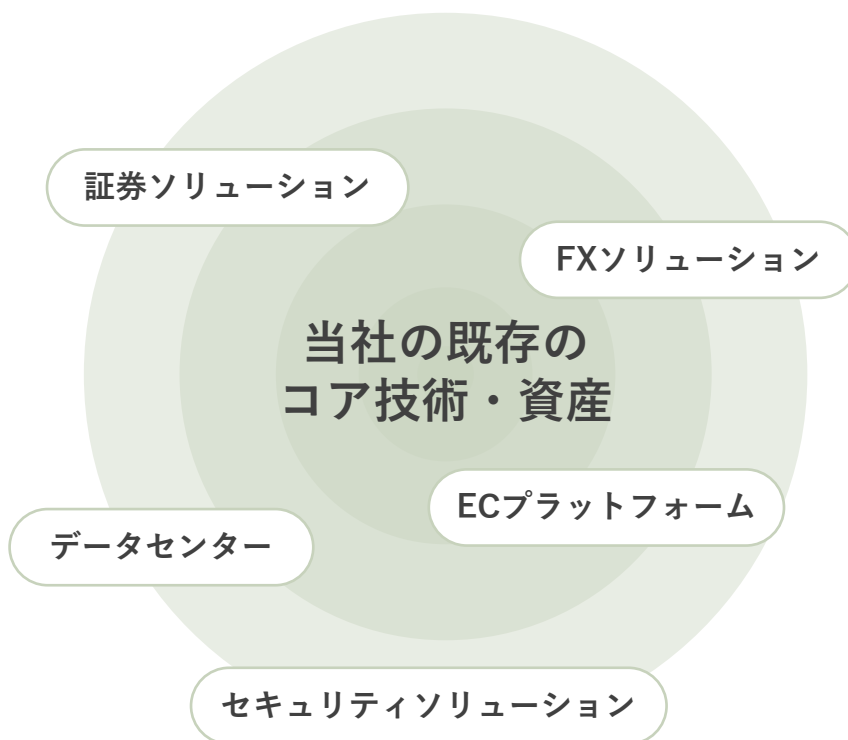
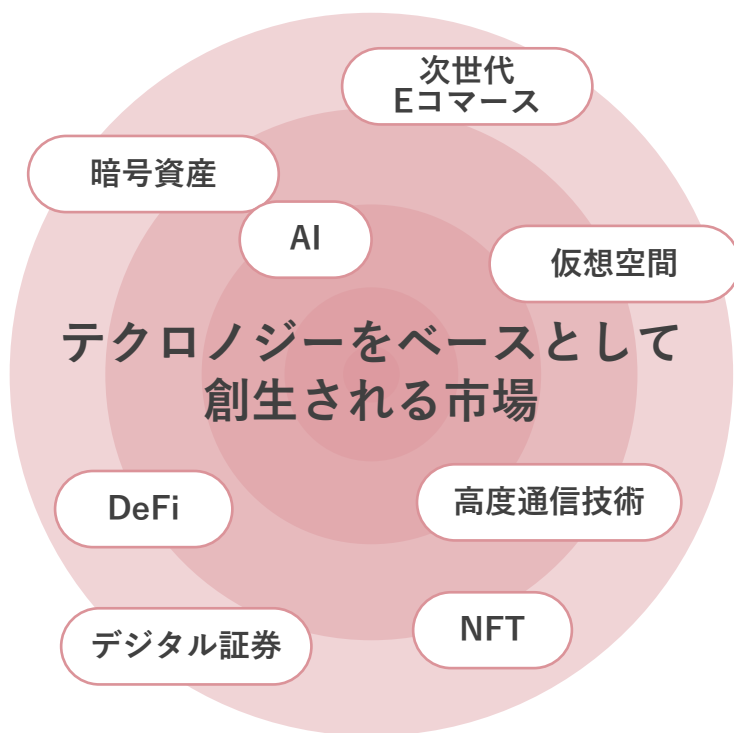
2026年12月期目標

売上高：6,000百万円、営業利益：795百万円



当社の目指す姿

次世代金融、新デジタル時代を見据えた
テクノロジー・ファースト型の企業成長



目標数値

既存事業におけるストック率の向上

- ストック売上高目標 **3,074**百万円（2021年12月期：1,400百万円）
- 既存事業におけるストック売上高比率 **62.7%**（2021年12月期：56.0%）

新規事業の育成

- 新規事業売上目標 **1,100**百万円

新規事業の育成

- エンジニア数 **210**人（2021年12月期：90人）

appendix

技術と金融知識を持ち合わせた 専門性の高い集団

技術

- 最新テクノロジー
- ビッグデータ
- バーチャルリアリティ
- 音声認識
- AI
- RPA
- Fintech
- クラウド



金融知識

- 株式
- FX・CFD
- 仮想通貨
- 投資信託
- 保険
- 年金



ビジネスモデル改革を進め

- ① 予期せぬ不採算案件の発生
- ② 製品及びサービスへの品質・価格に対する顧客からの要請
- ③ 同業他社との競争激化

に準備、対処し収益性向上を図ります。



技術者育成 + 環境整備
全社横断 品質・生産性向上

当該資料は当社の会社内容を説明するために作成されたものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。

また、本資料に記載されている将来の予測等に関する記述は、資料作成時点で入手している情報に基づき当社が判断したものであり、その情報の正確性を保証するものではありません。投資を行う際には、投資家ご自身の判断で行っていただきますようお願いいたします。

<本資料に関するお問い合わせ先>

株式会社トレードワークス
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-105
神保町三井ビルディング9F
TEL :03-5259-6611 FAX:03-5259-6612
<https://www.tworks.co.jp/>